

おんじゅく

8

昭和61年8月

第274号

千葉県御宿町役場



今年も新鮮な、そして多くの友情がめばえた(海と山の子交流会)

いま望まれる福祉活動とは

—多様化する福祉需要・低迷するボランティア意識の中で—

制度ボランティア座談会



参加者

(司会)
石田 行雄(町社会福祉協議会会長)
君塚 美治(民生・児童委員)
中島マサ子(町婦人会長)
田辺喜惣治(老人クラブ連合会長)
宇田川悦子(保護司)

玉田 初子(母子福祉推進員)
君塚 さき(母子福祉会)
岩瀬順子(丈夫な子を生みすこやか)
高山とし子(ホームヘルパー)
助言者
吉野二三(町住民課長)

出生率の低下と平均寿命の伸びによる高齢者人口の増加、核家族や婦人の職場進出による家庭での介護機能の低下など、福祉をとりまく環境は大きく変化しています。これに伴い福祉に対する要望・意識も複雑、多様化し、物質的経済援助に加えた在宅福祉サービスの必要性の高まる一方で、ボランティア活動に対する意識の低下など、地域福祉は大きな転換期を迎えています。

そこで、地域福祉の担い手として活動する人たちの体験談を通して、町の福祉の現状と問題点をさぐり、望ましい福祉のあり方を話していただきました。

石田——日頃私たちは、それぞれの立場で社会福祉活動をしているのですが、ますます活動内容と問題点、悩んでいることなどを話していただきたいと思います。

石田——日頃私たちは、それぞれの立場で社会福祉活動をしていています。これが活動内容と問題点、悩んでいることがあります。

年間の活動としては、毎年行っている独居老人慰問。これはわずかな金額ですが、お見舞品として日用品やお茶菓子などを持つてお年寄りを訪ね、お話を伺うものです。それから年末に法人、会社組織の事業所を対象にした日赤法人募金。会社となると数が少ないのですから個人の商品などのご協力をいただきますが、募金活動はなかなか苦労のいる仕事で悩みも多いですね。このほか、敬老会に

理解されないボランティア活動状況

会員減に悩む多くの団体



石田さん

君塚(美)——私たち民生(児童)委員は生活保護の問題や児童の遊び場確保のための活動、それに心身障害者やお年寄りなどで問題をもっている人たちの相談を持ち巡回していますが、核家族化、そして高齢化など民生委員としてよりていねいに、細かな活動が必要になってきていると痛感しています。

中島——会員の減少に悩んでいます。婦人会及び日赤奉仕団ですが、活動の中心はボランティアです。

石田——日頃私たちは、それぞれの立場で社会福祉活動をしていています。これが活動内容と問題点、悩んでいることがあります。

年間の活動としては、毎年行っている独居老人慰問。これはわずかな金額ですが、お見舞品として日用品やお茶菓子などを持つてお年寄りを訪ね、お話を伺うものです。それから年末に法人、会社組織の事業所を対象にした日赤法人募金。会社となると数が少ないのですから個人の商品などのご協力をいただきますが、募金活動はなかなか苦労のいる仕事で悩みも多いですね。このほか、敬老会に

会員の有志が参加し、お年寄りの接待をしています。

田辺——私は町老人クラブの会長をやっていますが、高齢者人口が増えているのに老人クラブの加入者は少ないのであります。

老人クラブは各区単位で構成されていて、一般的には一クラブ五十人単位なのですが、現在クラブ数は十一、六百人弱の加入者しかいないのが現状です。

岩和田と上布施に二クラブあるほかは全て一クラブです。

「老人」と呼ばれるのがいながら、魅力あるクラブにすれ

ばよいのでしょうか——なかなか

か難しいです。
現在老人クラブでは、夏の海
岸清掃をボランティア活動とし
て行っています。

更生者に対する 温かい受け入れを

宇田川——保護司をやっている
宇田川です。この仕事は、人に
目立ってはいけないものですか
から苦労も多いです。

主な活動は、刑務所に入っている
人の家庭を訪問して、刑を
終えた時に帰りやすい環境にな
るよう調整することなのです
が、これがなかなか難しいので

私たちが訪問することを家族
に迷惑がられたり、離婚の話も
出るケースもありますし——そ
れと更正後の職場の問題です。
たださえ就職難の時代ですか
ら仕方がない面もありますが、
立派に更生してくる人もいます
ので、温かく受け入れてくれる
事業所があれば、同じ間違いを
繰り返すことはなくなると思う
のですが……。

地域の人にお願いしたいことは
は、更正した人を温かく見守つ
てほしい、自然に接してほしい
ということです。保護司として
特にお願いしたいですね。

町には五人（男四、女二）の
保護司がいますが、協力し合っ
て、罪を犯す人がなくなるよう
頑張っていきたいと思います。

玉田——母子福祉推進員は現在
八名おりまして、母子家庭や寡婦家庭の
相談相手として、子どもの面倒

をみたり、状況に応じて資金貸
し付けなどの活動をしています。
また最近は、父子家庭の世論
調査を民生委員で行っています
が、私たちは四、五年前から母
子福祉会と一緒に父子家庭のお

子さんが中学卒業する時に記念
品を贈り激励しています。

活用されない 福祉制度も

君塚（さ）——母子福祉会は、母
子福祉推進員のお世話をいただ
いて活動しています。私自身は

年齢的に母子でも寡婦でもなく
なっているのですが、昔から入
っていますので、続けて活動して
います。問題は、実際の母子家
庭の方が会に入っていただけな
いことです。昔は、現在のよう
な母子家庭に対する資金貸付や

医療費の助成などの制度はなく、
組織の力で制度をつくってきた
みんなで町から国へと陳情して
います。いまは動かなくとも制
度があるため、会に入る必要が

ないと考へているのでしょうか。

それと、母親が一人で働いて
いて子どもが小さい場合、病気
になると困るわけです。そんな

時、家庭介護人を派遣する制度
もあるのですが、現在まで利用
した方が一人もいない。自分の
家庭や台所に入られるのをいや
がるという理由もあるようです。

岩瀬——私たちは「丈夫な子を
生みすこやかに育てる運動」推
進員として、各区から三名ずつ
現在二十六名で活動しています。

内容は、年一回の三歳児健診、毎月
二回の一歳六ヶ月児健診、毎月
の乳児相談で身体計測などを行
っています。私たちは保健婦で
はありませんが、母子保健事業の
ボランティア団体としてお手伝
いしています。

をお世話をしています。私がこの仕
事について最初に感じたことは、
食べて眠るだけのこの人たちは
何を生きがいにしているのか、

といふことでした。現在私は、
ヘルパーの活動で大切なことは
この人たちの話し相手になるこ
とだと考えています。入浴させ
ることも必要ですが、話し相手
になりながら、身の回りの世話を
するように心掛けています。

一例をあげれば、御宿町では
年二回寝たきりの方々を町長さ

訪ねてきて声をかけてくれる。
さ細なことですが非常に喜んで
います。

それと、婦人会や商工会婦人
部などで寄付していただいたシ
ンツなどは感謝されていますし、
私自身も助けられています。こ
んな時はつくづく「福祉」とい
う組織の偉大さを感じますね。

石田——お話を聞いていると、
各分野での活躍、そしてご苦労
がうかがえます。「福祉」の仕事
は間口が広く、奥行きが深い。
どこまでやってもきりがないよ
うに感じます。そのうえ、受け
る側の反応は千差万別。そこには
悩みのタネがあるように思えま
す。

石田——それではここで、みな

高山——私はホームヘルパーに
なって五年になります。現在八
名の一人暮らしや寝たきり老人



年二回ねたきりの方々を
慰問する高梨町長

町長の訪問を 楽しみにするお年寄り

高山——私はホームヘルパーに
なって五年になります。現在八
名の一人暮らしや寝たきり老人

を訪問していますが、これが
寝たきりの人たちの心の支えに
なっているんです。町長さんが

福社について改善点や要望など
がありましたらお聞かせください。

福祉・ボランティア意識高める広報活動を

心配ごと相談など積極的な広報を

田辺——福祉制度が充実してき

たことは確かですが、住民がこの福祉制度を十分に活用していないし、PRもされていない面があると思います。

例えば、町協の「心配ごと相談所」などは、広報でPRしたほうがよいと思います。どういった相談員が、どんな内容の相談を受け付けているのか

会場も一ヵ所だけでなく、自宅

でもよいとか。PRと工夫が必要だと思いますね。

石田——心配ごと相談は、毎月三回（二、十二、二十二日）開きますが、その都度有線放送し

玉田さん



玉田さん

玉田——先程のお話では、婦人会、老人クラブ、母子福祉会

どで会員が少ないという悩みを持つておられるわけです。お互い「福祉」という共通の活動テーマを持っていますから、協力してみんなで呼びかけていく努力が必要だと思います。

ボランティアにも

需要と供給の関係が

宇田川——組織の中に入れられることを嫌う人もいると思うんです。隣りの人が困っていることを助けてあげる——これもボランティアなわけでしょう。PR不足と意識の低さだと思いますね。

田辺——行政相談員、人権擁護委員、身障者相談員で、自宅での相談も受けています。気軽に相談にこれるような努力は続いているのですが、より一層の努力が必要かもしれませんね。

田辺——せっかく立派な制度があるのですから、これはぜひお願いしたいと思います。

ボランティア活動のPRも必要

石田——各種団体に限らずボランティア活動に対する認識が低いことは確かです。ボランティ

ア養成講座の参加を呼びかけても、一度登録されると常時出なればならないからいやだとか。わかりやすい、参加意欲のわくボランティア活動のPRの必要性を痛感します。



君塚(美)さん

君塚(さ)さん

君塚(美)——受け手が少ないことは事実です。寝たきりの人を抱える家庭は大変だと思うのですが、ヘルパーさんなど外部の人を頼むのは「いやだ」という人もいますし、難しいですね。

登録されているボランティア団体・個人

丈夫な子を生み、すこやかに育てる運動推進員

……26人

婦人会・日赤奉仕団

……17人

老人クラブ連合会

……11人

忠若会御宿支部……8人

貢勝会……10人

一般ボランティア……14人

高齢者人口の増加と家庭介護機能の低下

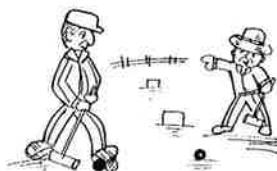
老人福祉の現状

出生率の低下と平均寿命の伸びにより高齢者人口は急速に増加しており、昭和六十年十月一日現在では、六十歳以上の人口は総人口の二三・二%（千九百四十四人）を占めています。

また、核家族化、婦人の職場進出により家庭における介護機能は低下しています。現在町には、寝たきり老人十三人、独居老人四十八人がおり、町では家庭奉仕員の派遣、在宅慰問、ヤクルト配布などのサービスを行っています。

一方、老人の生きがいづくり、仲間づくりの場としての老人クラブ活動は、クラブ数十一団体、加入者五百九十七人（六十五歳以上の人口比四三・七%）と低い加入率となっています。

御宿町の社会福祉の現状



受ける側に立った福祉 サービスやお年寄りの 社会参加必要

中島——「地域福祉」というものには、一方通行ではないと思われます。相手の側に立って考えてみることも必要なんですね。

お年寄りに給食サービスをしようと計画したんですが、民生委員さんとのお話し合いのなかで感じたのですが、料理を作つて届ければ良い——これだけで



お年寄りと言ってもまだまだ元気
高齢者教室で学ぶ人たちも多い

宇田川——お年寄りに対する福祉サービスも大事なことですけれども、今後も老齢人口が増えしていくなかにあって、お年寄りの積極的な社会参加ということでも必要ではないでしょうか。

私がいま考えていることは、御宿町には昔から天候などに関する言い伝えがありますが、これらをお年寄りから聞いて、まとめてみたら、ということです。このほかにも伝統的な遊びやわらべ歌など、お年寄りにしかわからないことがたくさんあると思いますので、お年寄りと一緒に郷土の伝統・文化を残していく——こうしたこともお年寄りの社会参加につながると思います。



は片付けられないお年寄りにはお年寄りの考えもあるのですね。そこで給食サービスを実施するかどうかは、お年寄りの意見を聞いて、決めることにしました。

経済的、精神的な負担 大きい重度障害者介護

石田——この辺で住民課長に感想をお聞きしたいと思います。



中島さん



宇田川さん

昭和六十年十二月一日現在の身体障害者数は三百二十六人、精神薄弱者数は八人と障害者の対人口比は二・八%であり、また、肢体不自由者が障害者全體の六一%（百四十三人）を占めています。

また、寝たき老老人など重度障害者の増加と、それに伴う日常生活を受けるのは当然という考え方の相違の中での福祉の推進ということで、非常にご苦労されていることだと思います。

福祉を受けるのは当然という方もおられますし、そうでない方もいるわけで、ボランティア活動をしても果たして効果があるのか、ということでお悩みの方も多いと思いますが、目立たない所で役立っていると認識しています。

また、会員の減少など、さまざまな問題が提起されました。みなさん方が活動しやすいように行政に反映できるものは検討していくかと思いますのでよろしくお願いします。

減少傾向をたどる 児童数

児童・母子・父子福祉の現状

児童福祉施設は、保育所二か所、児童館二か所、児童遊園三か所、子どもの遊び場六か所が設置されています。また、児童、幼児数とともに年々減少傾向をたどっています。

一方、離婚、事故、病気等に起因する母子家庭、寡婦家庭は増加しており、母子家庭は四十四世帯、寡婦家庭は九十九世帯となっており、母子福祉推進員や母子福祉会員による相談・指導、福祉制度による援護を行っています。

房総を震源地とする地震發生の可能性が指摘されて以来、国をはじめとする研究機関での地震予知・観測技術は確実に進歩してきました。しかし、地震の発生を防ぐところまでには至っていません。

もし、いま大地震が発生したら、あなたはどのように対処しますか。家の中にいる時、車を運転している時、道路を歩いて

いる時など、いろいろな状況が考えられると思いますが、大切なことは、正しい防災知識との確な防災行動力を身につけ、落ち着いて対処することです。

あなたは、地震に対する備えは万全ですか。いつ襲ってくるかわからない大地震の被害を最小限度にくい止めるため、『地震の心得』をもう一度確認したいのです。

日頃の備えがわが身を守る

家族で防災についての 話し合いを



地震の震動によって住宅の扉

出口を

確保する

使用中のガス器具、電気器具、石油ストーブなどは、素早く火を消してください。地震で怖いのは火事による二次災害です。

素早く
火の始末を

地震の大きな揺れは、一分程度でおさまるといわれています。テーブル、机、ベットなどの丈夫な家具の下に身をかくし、しばらく様子を見てください。座ぶとんなどで頭を保護することも忘れずに。

あわてて戸外に
飛び出さない

万が一出火してしまったら、消防器や消火用水ですぐに消し止めましょう。また、隣近所に声をかけ、協力し合って初期消火に努めましょう。



あわてて戸外に飛び出すると、かわらや窓ガラスなどが落ちてきてしまふことがあります。大きな揺れは一分程度でありますので、落ち着いて

家族で話し合いを
防災の日には

被害が大きく、混乱しているときは、誤った情報が流れやすいものです。ラジオや町などの公的機関からの正しい情報、指示に従って、冷静に行動するよう努めましょう。

余震を恐れるな

被災が大きくなると、消防署などによる救急活動だけでは、負傷者の手当てが間に合わないこともあります。軽いケガなどは、みんなで協力し合ってやりましょう。

みんなで協力しあつて
応急救護を

災害避難場所

岩和田青年館	☎ 4392
岩和田小学校	☎ 2254
御宿小学校	☎ 2009
御宿中学校	☎ 2101
B&G海洋センター	☎ 4143
御宿家政高校	☎ 2911
布施小学校	☎ 2437
実谷区民館	☎ 5970
サンドスキーキャンプ場	避難集合地
八坂神社	〃



御宿町長
高梨秀治



時代とともに 変貌する御宿の自然

かつて、明治以来最高の政治家といわれた「平民宰相」原敬の良き相談相手であった内務省警保局長の古賀廉造さんが、明治の末頃、東京から大工さんを連れてきて御宿に別荘を建てた。当時、内務省警保局長といえば今日では到底想像つかないほどの権力者である。

治の末頃、東京から大工さんを連れてきて御宿に別荘を建てた。当時、内務省警保局長といえば今日では到底想像つかないほどの権力者である。

の写真四十点ほどお借りして、「なつかしの御宿」として広報に掲載しましたが、この写真に見られる当時の壮大な御宿の自然を、古賀さんも十分満喫されていたのだと思う。

いまは当時をしのぶよすがもない。ここ三十年ほどの間に、目まぐるしく変わる時代を経て価値感も多様化してきた。特に新しい活力をもたらすとしてとられた経済の高度成長。わが町

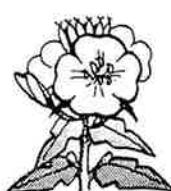
つた。自然が豊かな反面、当時の生活は、いまの若者に話しても理解されないほど質素なもので、だれひとり近い将来、マイカー時代、飽食時代が到来すると思っていなかつた。

しかし、急速な都市化の進展は、ある程度の開発はやむを得ないものにし、自然もそれに伴って少なくなった。

しかしながら、その昔の自然への郷愁もあり、時には自然の美しさと語り合う心のゆとりを持ちたいと念願する。

我々としても、その昔の自然への郷愁もあり、時には自然の人が急増する——緑なき都会人の素顔であると報じている。

地域の特性生かし 高めたい郷土の自然美



住環境に欠かせない 自然の美しさ

その古賀さんが、なぜ御宿に別荘を建てたのか知るよしもなかつたが、古賀さんと長い間親交のあつた人のお話をうかがうと、この場所から眺める景観、つまり岩和田方面に向かって砂丘が大きくなつて、まさに月の砂漠にふさわしい自然美に感動して、ついには余生もこの地でおくことになつたと――。

数年前、新町の松崎さんのご好意で、大正時代から昭和初期

もこの時代を契機に大きく変貌した。

経済の高度成長についての功罪は、後世の歴史家の判断にゆだねるとしても、文明の進歩は自然を変えていく。御宿の自然もまた、古賀別荘建築当時と現在では隔世の感がある。

我々の青少年時代には、御宿の自然を云々することはなかつた。あまりにも自然が豊富であったので問題にする必要もなか

いた。文化的で趣味のある生活を望んでいる人が多いという。

また、その一方では、生活が豊かになれば余暇が多くなり、余暇を利用して自然に親しむ人も増えてくる。先日の新聞も、

長野県上伊那地方では、高校生やお年寄りのボランティアで三十キロもある広域農道をコスモスの花でふちどろうといふ「花の道」計画が進められているといふ。

人は暮らしの中に、水と緑、そして花などの自然を求め、その美しさにやすらぎを感じる。これからは地域の特性を生かしたなかで四季折々の自然の美しさを高めていく必要があろう。

郷土の生きものを大切に

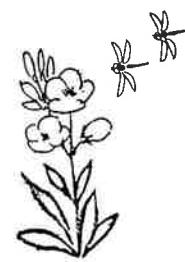
月見草の種子をまきましょう

新町 米本 弘夫

「珍獸タマリン」^{アマリニ} ブラジルに帰国 これは去る七月二十六日付の朝日新聞のある記事の見出します。ご記憶の方も多いと思いますが、ブラジルの東南部奥地に僅か二百頭しか生息していない小型の猿の一種、キンクログライオンタマリンが不正輸入されて、日本の各地の動物園で飼育されていたのですが、今回ブラジル政府の要請で、このタマリンを母国ブラジルへ送り返すことになったということです。このようすに、最近世界の国々



みんな の 広場



みなさんからの
投稿や話題など
でつくるページ
です。

知り、それ相応の努力をし、ある程度の管理、保存を行ってきました。次にやるべき仕事は、郷土にすむいろいろな生き物を大切にしていくことはないでしょうか。美しい御宿の自然環境を生き物と共に後世に残していくことは、大事なことと思います。

六月に行われた「海浜植物雑誌審査会」でも、ちょっと珍しい「ウニラン」などが見つかりました。個体数も多いので、すぐになくなることもないと私は思います。が、美しい花なので心ない人の手によく取られてしまうのです。

何らかの対策が必要と思いま
すが……。

今回、「月見草を咲かせる会」で、『よみがえれ月見草』のキャラクター「月見草姫」と一緒に、月見草を咲かせる活動を行いました。

月見草の種まきは
九月中旬頃が適期

九月の中旬頃は、月見草の種まきの適期です。ぜひ種をまいみてください。

○よく実った種子を用意します。
（種子のことについては広報7
月号を参考にしてください。）
○次に種をまく鉢が必要ですが、



元氣よく選手宣誓

ソフト・ミニバスとも
岩和田子ども会が優勝

町青少年つどい大会

町青少年相談員連絡協議会では、七月二十日、御宿町青少年つどい大会を開きました。

（勝浦市立行川小学校校長・月見草を咲かせる会）会員

○いずれにしても月見草は、割と強健な野草ですので、そんなに難しいことはないと思います。

○草丈が二、三センチ、本葉が四枚程になつたら、移植や定植をします。

○この頃の気温ですと、三日から二週間で発芽してきます。表面の土が乾いたら、水をやつてください。あまりこんでいるようでしたら間引きをします。

スポーツを通じて各地区の子どもたちの友情を深めようと、男子はソフトボーラー、女子はミニ・バケットボールに分かれて子ども会単位の対抗戦が行われました。大会の結果はつぎのとおりです。一位、二位のチームは夷隅地区青少年つどい大会に勝浦市へ出場します。

【ソフトボールの部】

【三】・バスケットボールの部

苦闘の後の貴重な“報酬”

第七分団

木 村 三 津 男

「きょうは出られるんかよ」「ああ、いいよ」——いつものよう五人の顔ぶれがそろった。

ポンプ操法東隅支部大会の出場が決まって五月十一日から毎日毎日訓練に明け暮れた。

一年中で一番忙しいこの時期。

よくぞ毎日毎日、みんながそろつたものだ。だれひとり不平の顔はいらない。どの目も厳しい輝きをしていた。

訓練が始まった数日は、自分としても、このくらいの訓練でいいと思っていた。号令の声は大きいし、顔だって迫力があるし、要員を引き締めるのにはうつつけと自負していた。

しかし、消防学校教官の目には、実に焦れったく書いたのだろ。操作要員五人に罵声の雨、あられ。遠慮会釈もない。訓練の中でも悪い所があれば先に進めない。同じ動作を何回、何十回と繰り返した。こめかみがだん



今年こそ汚名返上しよう

だん痛くなると、おのずと声が小さくなる。「やめいッ！」教官のかん高い声が頭の芯まで響く。

自分の体力には十分自信がある。しかし、今年だけはこたえだ。自分だけではない。「なぜこんな教官にどなられ、この忙しいのに自分の仕事を犠牲にしてまで、やらなきゃならないだ。——とみんな同じように感じたにちがいない。

でも、だれひとり不平も言わず、一丸となり歯をくいしばりて耐えた。

開会式も終わり、最初の出番大多喜町の代表がポンプ操法を始めた。そのころ、我々の待機場所へ連絡が入った。いよいよ出番だ。今年こそ、今までの汚名を返上し、入賞しよう」だれとなく、こんな言葉があたりにひびいた。

審査官の「操法開始」の合図とともに、私の号令で、きびきびした操法が続いた。最初のホース延長は順調。一線四十五秒。二線六十五秒。集納二分二十秒。一秒一秒のなかで、満身の力をふりしぶりながら、最後の集納へと進み、無事にポンプ操法を

会場の須賀大駐車場では、他

終えた。

一つの目的のもと 団結する尊さ知る

七月二十四日、いよいよ県大会がきてしまった。みんなは、なぜか支部大会のときより動搖もなく、自分自身、他の町村の操法を見た段階で「これならいい。五位以下にはならない」と確信した。

苦闘のあとに、こんな尊い報酬をえたんだということを、しみじみと回想している。

何分かの静寂が続いた後で、まわりからざわめきが感じられたと思つた瞬間、「第七分団優勝だ」という声が耳にとびこんできた。内心、他の要員も自分も「困った」という気持が頭に浮かんだ。支部大会の優勝は県大会の出場に結びつくのだが、自分は大会前日妻に、「明日で訓練も終わるだから、仕事が余裕をもってできるよ」と話した。それだけに優勝の発表があつても素直に喜べなかった。

現実に、賞状、優勝旗を手にした時、今までの苦労と同時に、これから責任感とが一度に頭に浮かび、目の前が暗くなるような気分だった。それからは県大会にそなえ、郡代表の名に恥じないよう新たに気持で訓練に打ち込んだ。

来年度、支部大会に出場される他の分団へひとこと。「団員一丸となり、やる気をむき出しにし、訓練にはげんでほしい」そして、我々の果たせなかつた夢をかなえてほしい。「なればなる」この気持さえあれば、目標を達成できるのではないだろうか。

自分たちの今日までの訓練、大会出場までの過程で、ご協力ご支援をいただいた町はじめ、区民の皆さま、消防団本部、各分団の皆さまにお礼を申しあげるとともに、第七分団小川分団長の統率力に敬意を表したい。お互いの信頼感がチームワークを築き、一つの目的のために団結する尊さをこれほどまでに感じたことがなかつた。このことがなによりの収穫であった。

しかし、結果は九位というふがいな成績に終つた。いま一度やり直しがきけば、という気

短い交流で芽ばえた

大きな友情



渚のレクダンス



スイカやりを楽しむ

七月二十二日から二十四日まで長野県野沢温泉村の中学校一年生など一行八十六名を迎えて、海と山の子交流会が行われました。今年は梅雨明けがおくれて心配された天候も、交流会二日目には夏の太陽が顔を出し、素晴らしい海辺の交流を演出してくれました。

漁船での遊覧、海水浴、バーベキュー、レクダンス、すいか割り、一二泊三日の短い交流でしたが、真黒に日やけした子どもたちは、いくつもの友情の輪をつくり、話題は早くも冬のスキーへととんでいたようです。

海と山の子交流会——夏

ご協力ありがとうございました



交流会事務局

今回の交流事業には、岩和田遊漁船組合、御宿中学校PTA岩和田地区の民宿組合など多くのみなさんのご協力をいただきました。厚くお礼申しあげます。
〔ご協力いただいた遊漁船〕
（一）内は所有者
藤栄丸（松下藤吉）、新勝丸（嶋村勝治）、和頼丸（埋田庄一）、久丸（江沢健次郎）、和丸（市東幸一）、俊栄丸（渡辺俊夫）、幸徳丸（遊仙幸正）、正栄丸（星野正之）、鶴丸（鶴岡清）、勝栄丸（殿岡七次郎）、八幡丸（水野八郎）、ひろみ丸（松本喜一）、福市丸（村上和夫）、孝丸（田中勝男）、定丸（殿岡定雄）、喜栄丸（市原喜松）、國丸（殿岡国要）、南海丸（土井八郎）、葉田丸（葉田良一）、辰巳丸（市東光郎）、むさし丸（斎藤鶴雄）、良昌丸（水上定雄）、田中丸（田中量治）、恵丸（市東功）、清栄丸（土屋清宗）、大直丸（高梨直吉）、富丸（高梨文男）、徳栄丸（市東正一）

感想文

「児童の船」に参加して

B & G 財団が主催する体験航海
「児童の船」が7月23日から同月28
日まで行われ、町内の小学生3人が
参加しました。



御宿小6年
石井達也

ぼくは「児童の船」に参加し
て沖縄に行きました。船も飛行
機も初めてなので、船よいはし
ないか、飛行機の事故はないか
不安でいっぱいでした。
ぜんぜん知らない友達と一緒に
沖縄へ行くので友達が出来る
かも心配でしたが、各班に別れて
行動したので、埼玉や栃木、千葉
県の友達が出来てうれしかった。
みんなで船の上で手話たやロ
ープワークなどいろいろ教えて
もらいました。はじめてのこと
ばかりなので楽しかった。
沖縄は御宿より海がとっても
きれいでした。そこで海洋スポ
ーツのカヌー、カッター、ヨット
を教えてもらいました。
ぼくは「児童の船」に参加し

てたくさんのこと学び、友達
もでき、楽しい思い出ができま
した。



岩和田原
木修

ぼくは、七月二十三日から七
月二十八日までB & Gの児童の
船で沖縄にいってきました。
船に二泊して三日に沖縄に
つきました。船からおりたらそ
は、すごく明るくて海は、とても
きれいでプールの水のようでした。

沖縄で三泊したけど一番樂し
かったのは、キャンドルサービ
スのときやったスタンツ(寸劇)
駅下りて磯が匂ふと避暑の客
水撒けど日向の砂の乾き出し
浪音のこだまとなりぬ花南瓜
片かけを捨てては拾ふ帰り道
白木槿三宅やす子の屋敷あと
日の中を首うなだれて月見草
夜行車の窓をぬぐひしわが指の
ライターの炎うつりてすぐ消え
ぬガラス戸の外は寒き宵闇
仁我の浦にここだくありし見消
えて遠白き日の渚吹く風

でたくさんのことを学び、友達
もでき、楽しい思い出ができま
した。船の中で班に別れて作
った五分間のげさをやつたので
す。ぼくたちが考えに考えたと
ても楽しいときは、みんなにう
けました。
ぼくは、このげきで一やく人
気者になりました。また、いつ
かあのメンバーにあいたいと思
います。とても楽しい旅でした。



布施藤佐
和寛

七月二十三日、東京から出航。
二日がかりで沖縄に着いた。船
の中では、手旗、ロープワーク、
レクリエーションなどをやった。

夜はキャンプファイヤーで各
班いろいろな出し物をやった。
ロープ、モーター、ボート、
乗るのは初めてだったけど、樂
しかった。そして、きれいな海
と言葉から、ふだんはそうとう
あついのだろうと思った。

沖縄での二日目。海洋スポ
ーツをやった。カヌー、ヨット、
ロープ、モーター、ボート。
乗るのは初めてだったけど、樂
しかった。そして、きれいな海
と言葉から、ふだんはそうとう
あついのだろうと思った。

おんじゅく俳壇

御宿海岸吟行

市原
さき

風紋を乱す足跡花火がら
猪鼻 とき

目にまぶし梅雨の晴間の浜に出
て

嵯峨 通恵
石井 たま

梅雨晴の浜茶屋が呼ぶ声高し
月見草野に咲いてこそ月見草

らくだの像熱砂の中に今日もま
た

河崎
康代

とんとんと瓜打つ海女や三拍子
斉藤 月子

短 歌

歌

駅下りて磯が匂ふと避暑の客
松井 郁子

足うらに梅雨のしめりの畠かな
渡辺 なつ

鳴かずとも蛙棲みる畦のみち
伊藤 てる

片かけを捨てては拾ふ帰り道
今井 アキ

早苗田の真澄める水に影落しつ
瀧口 君子

つぎの花の白まさりたる
萩原 晴子

小冊子ひとつとてなき眼科医の
待つ人の背を風吹きぬくる
幸保 ひさ子

水撒けど日向の砂の乾き出し
佐藤 笑人

浪音のこだまとなりぬ花南瓜
岡田 つる子

鳴かずとも蛙棲みる畦のみち
伊藤 てる

片かけを捨てては拾ふ帰り道
今井 アキ

早苗田の真澄める水に影落しつ
瀧口 君子

つぎの花の白まさりたる
萩原 晴子

小冊子ひとつとてなき眼科医の
待つ人の背を風吹きぬくる
幸保 ひさ子

紅のばらコップにさせば華やぎ
て雨の一日の厨明るし
遠き日に教をうけし師と共にフ
オーケダンスを踊る楽しさ
斎藤 月子

遠き日に教をうけし師と共にフ
オーケダンスを踊る楽しさ
平島 ふみ

ライターの炎うつりてすぐ消え
ぬガラス戸の外は寒き宵闇
仁我の浦にここだくありし見消
えて遠白き日の渚吹く風

山高き清澄寺に咲きほこるつ
じさつきの見事なるかな

ものなべて静なるべき夜にゆて
老いにし己が齋寂しも

栗原 清

半澤 克巳

仁我の浦にここだくありし見消
えて遠白き日の渚吹く風

ものなべて静なるべき夜にゆて
老いにし己が齋寂しも

栗原 清

お元気ですか
保健婦です

お念佛と健康チエック

—地域の要望にこたえて—

健康相談を お念佛会場で

が準備されていました。

お念佛に集まつた十八人の皆さんを前に高血圧についての話をしたあと、皆さんに持参していただいたみそ汁の塩分濃度

チェック。次に血圧測定、そして最後に「塩と健康」をテーマにしたスライドを上映しました。

高かつた みそ汁の 塩分濃度

塩分濃度チェックの結果、塩

布施健康相談は毎月一回、第一木曜日に行っていますが、利用者は少なく一回に二、三人と少ないうこともあります。

地区の皆さんに聞いてみると「たまには血圧くらい測つてみたいと思うが、わざわざ出て行くのはおっくう」なのだそうです。

り、栄養を考えた手作りの料理を飲むポイントは、(1)だしをよくきかせること(2)具をたくさん入れること(3)さめないうちに食

卓に運ぶことです。また、みそ汁は一日に一回、家族の人数分だけ作り、残らないようにすることも大切です。あつた人が二人、その他はみんな正常血圧でした。

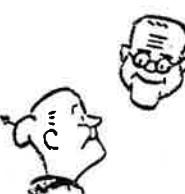
血圧だけでなく、日本人の食生活に欠かせないみそ汁の塩分濃度も、ときどきチェックします。(みそ汁の塩分濃度チェックは、血压相談会場に

て栄養士が実施しています)。

老人クラブや婦人会の集まりなどで健康相談をご希望の際は、住民課へご相談ください。

久保区が 表彰道 路 愛護で

表 彰



来年からは空中散布で 実谷・七本地区の地上防除終る

八月五日、六日の両日、実谷・

七本地区の水稻病害虫地上防除

が行われました。同地区では、

町営水道の取水地域であるためヘリコプターによる農薬散布が

できず、毎年耕作農家などで構成する防除組合の手で散布作業を行っています。

今年も約三十七ヘクタールの

水田に二日間で延べ八十人を動員して、汗だくの散布作業が続

けられましたが、秋には御宿ダムから浄水場までの直送管布設工事が始まる見通しであること

から、作業する地元の人たちは、「来年は空中防除で」と明るい表情でした。

道路の重要性を見直そう

わたしたちが町から町へと移動するのに利用する道は、時代とともに変化してきました。人々が通った道から、何トンもある車が通る道へ——いまや道路はわたしたちの生活に欠かすことができないものとなっています。

建設省では今年から八月十日を「道の日」と定め、車社会を支える「道」の重要性を考える日になりました。わたしたちもふだん見過している道路の役割に目を向け、みんなの財産である「道」を守りたいものです。

国民年金

こんな時は
こんな届出を

年金受給者の届出一覧

届出などを必要とする場合	届書などの名前	届出期限
年金を引き続いてうけようとするとき	※国民年金受給権者現況届 福祉年金定時届	毎年誕生日の末日 (老齢基礎・老齢・通老) 5月31日(障害など) 7月31日 (障害基礎など) 8月11日～31日 (福祉年金)
氏名をかえたとき	国民年金受給権者氏名変更届	14日以内
住所をかえたとき	※国民年金受給権者住所変更届	
年金をうけとる郵便局や銀行をかえたとき	※国民年金払渡希望機関変更届	そのつど
年金をうけるための通知書をなくしたり、届かなかったり、よごしたとき	国庫金送金通知書亡失(き損)届 ※国民年金支払通知書亡失(未着)届	
年金証書をなくしたり、よごしたとき	※国民年金証書再交付申請書	すみやかに
年金をうける権利がなくなったとき	国民年金失権届	すみやかに
年金をうけていた人が死亡したとき	国民年金受給者死亡届	14日以内
死亡者がうけていない年金があるとき	国民年金未支給年金支給請求書	5年以内 6ヶ月以内(福祉年金)
2つ以上の年金をうける権利を得たとき	国民年金受給選択申出書	
福祉をうけている人で恩給や年金をうけられるようになったとき、またはうけなくなったとき	福祉年金支給停止関係届	すみやかに
障害基礎・障害・遺族基礎・母子年金を受けている人で加算対象の子に異動があったとき	国民年金額改定請求書(届)	
年金の支給が停止されるときや停止される事由がなくなったとき	国民年金支給停止事由(該当・消滅)届	

国民年金の老齢年金などを受けている方は、次のような場合には、すぐ届出をしてください。
この届出を忘れたり、遅れた

りますと、年金の支払月にな
っても年金が受けられなかっ
たり、年金を受取り過ぎて年金を
返してもらわなければならぬ
ことにもなりかねません。

届出書の提出先は、役場住民
課国民年金係です。なお、老齢
基礎年金、老齢年金、通算老齢
年金を受けている方は、異動の
内容によっては提出先が社会保
険庁となります。

りしても年金が受けられなかっ
たり、年金を受取り過ぎて年金を
返してもらわなければならぬ
ことにもなりかねません。



原爆被爆者の相談会

茂原保健所で

千葉県では、原爆・被爆者の生活の安定と健康の保持及び福

(注) 老齢基礎・老齢(通算老齢)年金をうけている人の※印の届書の提出先は、社会保険庁です。

社の向上を図るために、次の日程で原爆被爆者相談を行います。
【相談日】9月16日(火)10月7日(火)、10月28日(火)、11月18日(火)、12月16日(火)
【会場】茂原保健所(☎ 0475-22-5167)
【受付時間】午後1時から3時
【会場】茂原保健所(☎ 0475-22-5167)

の規定により建設業者の経営事項審査を行いますが、それに先立ち説明会をつぎの日程で開きます。

【経営事項審査等の説明会】
【日時】9月19日(金)午後1時から
【会場】茂原市総合市民センター(☎ 0475-24-1951)
【地区】長生・大原・大多喜
※なお、県が発注する工事、測量・設計・調査等の業務委託、建設資材等の購入の入札参加審査に関する説明及び建設業法等に関する説明も同時に行います。

経営事項審査等の説明会

建設業者を対象に

保健



布施・健康相談

【日時】9月4日(木)午前9時30分から午前11時30分まで
【会場】新久井青年館
【内容】血圧測定、個別相談
【持ち物】康手帳持参

岩和田健康相談

【日時】9月6日(土)午前9時30分から午前11時30分まで
【会場】岩和田青年館
【内容】血圧測定、個別相談
【持ち物】四十歳以上の方は健

乳児相談

【日時】9月9日(火)午後1時30分から午後3時まで
【会場】同
【内容】康手帳持参

血圧相談

【日時】9月12日(金)午前9時30分から午後3時まで
【会場】町公民館
【内容】血圧測定、個別相談、
【持ち物】四十歳以上の方は健
康手帳持参。塩分濃度測定希
望者は少量のみそ汁持参。

【会場】町公民館
【対象】一歳未満の方
【内容】身体測定、発育指導
【持ち物】母子手帳

妊婦教室C

【日時】①9月18日(木)②9月25日(木)午後1時30分から
午後3時30分まで
【会場】町公民館
【内容】住民課窓口で申し込みを受け
付けしています。

表彰

▼民生児童委員 石田 行雄
同 同 同 吉田 美和子
同 同 井上 覧
同 嶋田 菊枝

七月三十日に開催された千葉
県民生児童委員大会において、
地域福祉に対する長年の尽力が
認められ、千葉県民生児童委員
協議会長より表彰されました。



おめでた

日赤一般社資募金に ご協力ありがとうございました

日赤御宿分区では、先に日赤一般社資の募金活動を実施したところ、皆様方のご理解、ご好意を得まして予定目標を上回る九十七万円のご寄付を集めることができました。

ここにご報告とともに厚く

(御宿町社会福祉協議会
事務局)

お礼申し上げます。なお、この期間中ご協力をいただいた各区役員並びに関係者各位に深く感謝の意を表します。

電 編 發 行 責 任 者 話 集	人 口	話題・原稿を募集	久 保 浜 西 川 和 代 江 澤 真 由 美 式 田 祐 貴 岩 堀 真 理 子 白 鳥 敏 和 光 清 重 芳 義 昭 和 己
	8月1日現在		
	男 3,935 人	みなさんからの話題や原稿を	
	女 4,313 人	募集します。各地域の行事、大	
	計 8,248 人	会の情報やみんなに知らせたい	
	世帯数 2,471 世帯	出来事をお寄せください。(原稿	
04706812511		の場合は、八百字以内。住所・ 氏名を記入) (総務課広報係)	84 22 78 70 78